

●主な活動の記録 (1月～3月)

平成 31年

1月12日(土) 定例活動・新年会 矢田山遊びの森

本日は二部構成で活動しました。

今年最初の定例活動は、明るい日差しに恵まれ 18名が参加。理事長の年頭の、「今年もみんなで、森づくり奈良クラブのスローガン:安全で楽しい活動を進めよう」との挨拶の後、全員で記念撮影をした。「松の内」という事で、伐木作業は休み、モミジ谷に置いてあるシイタケ銀行の柵材の搬出、皮むき、前回白く塗った柵杭の化粧直し等をし、料理体験館から炭焼き小屋への通路の整備作業も行い、夜の新年会に備え正午で解散した。

第二部「新春の集い」は、17時から近鉄西大寺駅南側すぐの味楽座で、15名が参加し、恒例となった内山さんの乾杯の音頭で幕を開け、みんなで楽しい一時を過ごして、鋭気を養った後、今年も楽しい活動を約して、お開きとなった。次の「一時」が待ち遠しい!



参加者一同



柵材づくり



柵の化粧直し



新年の集い

1月26日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

雪の予報も出ている、寒いこの日 14名が参加。午前中、R308沿いで枯損木を中心に森林整備。結構な高木もあり、中々思うようには倒れてくれず、苦戦する場面も。又道沿い上には、複数の電線が走っており、これに架からぬように、又国道を時折走る車に、注意しながらの伐倒は一苦勞。屋前には予報通り、雪がちらつき始めた。倒した木で、ホダ木として利用できるものは、玉切りしシイタケ銀行へ搬入。

午後、シイタケ銀行の整備と料理体験館から、炭窯までの通路・階段の整備作業。

この間、定例理事会を開催。

- ・日月山、国有地地獄谷、元明天皇陵隣接の県有平城京保存地区の整備取組みにつき検討。
- ・新年度助成事業、モミジ谷整備は継続(担当:奥村理事) FV連曾爾村での整備・交流(担当:奥理事)も引続いて実施の為、林野庁事業も合わせ申請する。
- ・新規理事も合わせ、役割分担の検討・決定
- ・クラブ住所登録変更の件:県緑推事務所が、5月橿原市への移転に伴い変更が必要となり、一度県自然公園課に相談することとした。
- ・FV連財政処理に関する検討
- ・天皇在位 30年記念造林活動実施についての検討



== 作業風景 ==

2月9日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

強い寒波接近で厳しい寒さの朝、20名が参集。この日、卒論で里山の整備活動を研究課題としている近大生が、インタビューに訪れ、朝会で皆に紹介された。

午前中、大半が「緑の募金」公募事業、モミジ谷の森林整備活動に同地へ。この日は、伐倒木の処理に加え、遊歩道と人工林の間を流れる沢の両岸を中心に整備。倒れ込んだ雑木や伐倒木を引上げ、加えて大きなナラ枯れの木の除伐。昼前に取りかかった一本は、かなり大きく、おまけにしっかりした大きな枝の股が、他の木にはまり込み架かり木となり、外しきれず午後、あらためて機械を使つての処理。近大生はこの間の作業の説明を聞きながら、熱心にメモしたり写真を撮っていた。

午後、上記架かり木の処理班以外は、シイタケ銀行の柵整備のための、予め運び込んでいた間伐材の皮むきを行った。終了後、臨時の理事会で、

- ・天皇在位30年記念造林実施に向けての内容、日程・樹種・本数・場所・資金につき検討、4月27日芝生広場での実施に向け、担当理事小野を中心に詳細詰める。

なおこの日、恒例のお花見会を、植樹終了後行うこととした。

- ・県緑推事務所移転に伴う、クラブ事務所の登録の変更につき引続き検討。

FV連担当者より、今年も恒例の「緑と水の森林ファンド」助成事業、森林ボランティアリーダー養成を、3月16～17日に曾爾村塩井地区で開催案内あり。本年は多少趣向を変えるので、多数の参加呼びかけがあった。(詳細は、トップページ参照)



== 除伐・整備作業風景 ==

皮むき

2月23日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

比較的穏やかなこの日、18名が参加。

1. シイタケ銀行の近くにある、大きなナラ枯れによる枯損木2本の伐倒
2. シイタケ銀行の柵の補修
3. シイタケ植菌

三手に分かれての活動。

・枯損木の除伐は、テルホールを使つたり、近くにある浄水設備上に乗らだした太い枝を一本梯子で登って、上であまり吊り切りをしてから、伐倒し作業の安全を期した。

- ・柵の補修は、何回かに分けて行っているが、この日は、ボルトを使って柵の横木の 取付け。
 - ・シイタケ植菌は、ドリルでの穴開けと種駒の打ち込み、仮伏せ作業。ホダ木約 80 本。駒の数が不足、幾本かは、次回に残した。時間があつたので皮むき作業。
- 解散後、定例理事会。
- ・天皇退位記念植樹、芝生広場奥で実施、県の許可が取れそうなので、3月23日(土)を予定。苗木サクラとカエデ合わせ、平成30年に因み30本発注予定
 - ・国有林管理事務所との協定(地獄谷国有林整備)の扱いに関し検討
 - ・春の昼食会は4月27日(土)とする。
 - ・事務所の住所登録に関しては、引き続き要検討



枝の吊り伐り



柵の補修



ホダ木の穴開け



駒の打ち込み

3月9日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者 17 名。当初予定のモミジ谷整備事業を急遽変更し、23日に予定している植樹祭に向けての準備作業を分かれて実施。

- ・植栽地(芝生広場左奥)で植栽木 31 本の位置決めを、間隔・日当たり・既存木を考慮 に入れて、位置決めをし竹串をさす。
- ・植栽木の支柱用の竹伐り。榊野工務店裏から調達し、2m 近くに揃え、先を尖らす。
- ・間伐木を利用したの標柱作り

後、残りの時間で、皮むき、道具の手入れ、週末の曾爾村研修に備え器具類の準備。



位置決め



標柱作り



竹の支柱づくり



皮むき

3月10日(日) 記紀万葉の道めぐり 矢田山遊びの森 クラフト指導

NPO 法人宙塾が主催され、当クラブが共催の掲題イベント。一般参加の親子づれ 20 組 52 名(内子供 26 名)が、菜の花プロジェクトで搾取された、菜種油を霊山寺に奉納した後、次のイベントを追分梅園で予定されていたが、雨の為急遽変更、当地に直行。

食育体験として、料理体験館での竹ご飯づくりのため、予め用意した竹の輪切りを指導、切った竹に米を込めてのご飯づくり。この間、紙芝居を使っての歴史の話。

午後からは、情報館内でppを使って、矢田山遊びの森並びに当クラブの子供中心の活動紹介の後、森の重要性・

役割につき、クイズ形式で子供達に答えさせた。中にはいきなり立派な回答をする子供がいた。ついでクラフトに移り、クラブ員 6 名が指導にあたり、竹の知恵の輪くぐり、竹のけん玉づくりを指導。この間、間伐材の輪切り体験や竹のコッポリづくり等を楽しんだ。最後に炊き上がった竹ご飯を試食、出来具合は色々だが、皆美味しそうに食べ、最後にアンケートに記入し解散。



イベントフラッグ



情報館内で



竹のクラフト



木の輪切り体験

3月16日～17日 リーダー養成の研修会と山村交流 曾爾村塩井

奈良県森林ボランティア連絡協議会主催の「緑と水のファンド」(国土緑化推進機構)公募事業として開催され、県下3団体と共に参加。当クラブよりの9名を含む18名(内女性3名)が参集。現地に向かう途中、突然の雪で活動出来るかが心配されたが、曾爾村につくと小雨程度で、曾爾村「塗るべ会」の皆さんのご指導や協働同作業で、どうにか予定通りの活動が実施出来た。

一日目は、間伐と竹林整備(2班)との2手に分かれての作業。

・間伐作業

個人宅裏山の私有林で、竹とヒノキが混在した森林で間伐を、2班に分かれて実施。

初心者が2人いた班は最初、細いヒノキを手ノコで基本に忠実に伐採する体験をし、その後、チェーンソーを使用した研修に臨んだ。他の班は、30cm程のヒノキを伐採したが竹に架かり伐倒に四苦八苦し、地元の方の指導により、無事に倒すことが出来た。

午後は、作業場所を区有林に移し、県森林技術センターの西尾講師から、繊維ロープを使用するエンジン式簡易ウインチによる集材実習を行った。これは今回初めてで、間伐材の有効利用の促進に役立つと共に、間伐材を安全に搬出する方法を学んだ。

・竹林整備

間伐森林内の竹と漆交流館近くの竹林の2ヶ所に分かれての作業。漆交流館の竹林では、伐採した竹をチップパーを使ってチップにし、午後に植樹する柚子の周りに撒いて雑草・乾燥防止とする。もう一方のグループは、伐採した竹を、枝払いした上、玉切りし綺麗にそろえて置くこととした。いずれの作業も、地域の方々との協同で、予定通りスムーズに終わることが出来た。

昼食は、昨年完成した漆復興拠点施設「ねんりん舎」で取った。この施設は、漆器や漆塗りに関する資料が展示され、薪ストーブが設置されたおしゃれな場所。

作業終了後、宿に移動し、交流会前の時間を利用し、曾爾村役場細谷企画課長より曾爾村の概要をはじめ、取組んでおられている村おこし事業などについてお話を伺った。交流会では地元及び、協力隊の方々を交え、和やかに話をしながら、一献を交わし、楽しい時間を過ごした。

二日目は、9時から漆工房で漆製品づくりの塗るべ会会員の作業風景を見学しながら漆製品作りについての工程説明を聞いた。その後、漆器作り体験者と視察組に分かれて行動。

漆器作り体験者は温かい部屋で、漆塗り工芸士の指導の下、和気藹々で作品作り(下絵)に取り組んだ。尚、漆塗りは本職にして頂き、製品は後日郵送。

視察班は、まず「地域の産米を使った焼酎工房」を見学。製品のおいしい甘酒を頂いた。その後、大和トウキづくり園場を見て、屏風岩公園に完成したばかりの MTB コースに行き寒くて雨の中、地域づくり協力隊の渡真利氏によるコース試走を観覧。

今回は、生憎の天候ながら、参加者・塗るべ会の方々の協力により、予定の活動を実施出来たことに感謝します。



参加者一同



間伐作業



集材実習



村の現状説明



漆器作り工程説明



絵付け体験



製品見本

(追記)

漆器作り体験をしたい方は、随時実施中ですので、下記に問合せ下さい。

ぬるべの郷 漆工房 担当:並木
 奈良県宇陀郡普爾村大字塩井 605
 メールアド urushisoni@gmail.com

3月23日(土) 記念植樹 矢田山遊びの森

平成天皇在位30年を記念し、県よりの要請もあり、芝生広場左側で、サクラ15本、カエデ16本合計31本(平成31年に合わせ)の記念の植樹を実施。参加者は初顔の女性3名を含め20名。

朝礼で、理事長より趣旨説明の後、道具を持って植栽地へ移動。(苗木は前日に運び込み済)現場で、本日の担当理事小野より、植樹手順の説明を受け、3名ずつのグループに分かれての作業。予め立てられた竹串を目安に、順次各グループ4~5本を植えた。穴掘りの際、造成された時に埋め込まれたのか、バラスの層に当たり手間取る所もあったが、予定通り昼前には無事作業を完了。最後に全員で記念撮影。

午後は、前回駒不足で半分ほど遣り残したホダ木への植菌作業。

なお、この日の植樹に先駆け、前日の22日同地で開催の青空保育園”ひよこクラブ”の子供達数名が、保護者共々2本のサクラを植えるお手伝いをしてくれました。

午後開催の定例理事会では、

- ・林野庁助成事業完了確認のための役員視察報告
- ・日月山実地報告
- ・城森林枝打ちを4月17日に実施予定
- ・次年度助成事業申請内容の検討

・担当業務(会計担当辰巳の一時休会に伴う)の変更

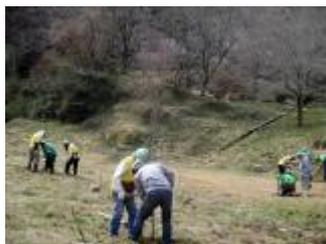
会計業務一中尾

クラフトチーフ 奥村、サブ 小松・小野

・事務所移転ー引続き県緑推の新しい事務所(檀原市)にて登録(5月から)



手順説明



植栽作業風景



参加者一同

ほぼ満開！ 20周年記念植栽地「永遠の森」サクラ



写真提供：情報館 永田氏 (撮影日 4月9日)